

【瀬田中学校 学校運営協議会・議事概要】

【学校運営協議会委員】

安土 吉昌	会長	瀬田南学区自治連合会 会長
岸場 明美	委員	瀬田学区青少年育成学区民会議 会長
岸場 馨	委員	瀬田学区自治連合会 会長
山岡 正幸	委員	瀬田南学区青少年育成学区民会議 会長
松田 奈緒	委員	PTA会長
大田 愛	委員	PTA副会長
脇坂 徹	委員	瀬田学区自治連合会文化祭実行委員会事務局事務局長
岩原 勇気	委員	地域学校協働活動推進員・唐橋まちづくりの会代表
伊藤 信也	委員	元庄山自治会長
田中 正徳	委員	龍谷大学

【学校職員】

人見 和宏	校長
田中 義也	教頭
濱村 知	教頭
山元 香治	地域コーディネーター
松岡 のどか	事務

第3期大津市教育振興基本計画

基本概念 新しい価値と可能性を追求する大津の教育
～多様性を尊重し自立する人～

基本方針

- ①次代を生き抜く力を育みます【学校教育】
- ②子どもが安心して学ぶことができる環境を整えます【学校教育】
- ③次代を見据え大津の教育を活性化させる教育改革を行います【学校教育】
- ④社会全体で子どもを育てます【家庭教育】【社会教育】【学校教育】
- ⑤共に生きる地域づくりのための社会教育を推進します【社会教育】

瀬田中学校

【校訓 自主・自律】【教育目標 きたえ・高め合い・学び続ける子供】

上記基本方針

主体的・対話的で深い学び	①
道徳教育の充実	①
体力づくり	①
指導改善(組織的・計画的)	①③
家庭・地域との連携・協働	③④
保幼小中の連携	①④
生徒指導体制の充実	②④
特別支援教育の充実	②

	第1回	第2回	第3回
日時	令和5年6月30日	令和5年11月8日	2024/2/29
場所	瀬田中学校	瀬田中学校	瀬田中学校
出席者数	9名	9名	10名
主な議題等	<p>1(1)校長挨拶 会長欠員については今後相談。 子どもたちの健全な育成を地域と共に考えていきたい。</p> <p>(2)参加者代表挨拶 安土様 子ども達の健全な育成の為に尽くしていきたい。</p> <p>2委員紹介</p> <p>3制度の確認 学校運営協議会および学校運営協議会規則について説明。コミュニティスクールリーフレットに基づき、「3つの機能」「守秘義務」について確認。 年間計画について説明。</p> <p>4学校運営の基本方針 教育全体計画・学校予算一覧・議事概要(案)について説明。</p> <p>5その他 提出書類について</p>	<p>1校長挨拶 今年度の会長は安土会長。会議録確認。今後は事務方で作成し、委員全員が確認後会長が確認して保存。</p> <p>2(1)学力の充実について 渡邊教務主任 学力学習状況調査について瀬田中学校、滋賀県、全国平均の結果をもとに説明。龍大ボランティア、SETA塾について説明。</p> <p>(2)学校夢づくりプロジェクトについて 校長 3年間の中庭プロジェクトについて説明。</p> <p>(3)地域行事への参画について 校長 学校だよりをもとに説明。</p> <p>(4)その他 授業参観の感想等</p> <p>3事務連絡 1月学校協力者会議 2月学校運営協議会</p> <p>4あいさつ 人手がひっ迫している。共に考えていきたい。</p>	<p>1あいさつ 校長;来年度に向け可能性を広げる会に。安土会長;地域からの声をそれぞれの立場で発信。</p> <p>2協議内容 (1)学校評価について 学校評価書をもとに説明</p> <p>(2)次年度の学校運営について ①学校運営の方向性の確認 教育全体計画をもとに説明。キーワード案を募る。 ②運営協議会委員について あと5名余裕がある為、地域と学校を活性化できるよう人選をしていきたい。 ③運営協議会等予定の確認 年間計画(案)をもとに説明</p> <p>(4)その他 龍谷大学との連携を増やす方法を考えていきたい。</p> <p>3事務連絡 5月中旬に第1回協議会</p> <p>4あいさつ 卒業式への出席をよろしくお願ひします。</p>
	承認・協議内容等	<p>3、規則第7条のとおり、次回より会長名で招集し、会長が議長となる。瀬田学区と瀬田南学区で会長をどのように担うかについては、この会で決定する。 瀬田中が学校運営協議会の一つのモデルとなるように研修を行い、尽力してほしい。</p> <p>4、教育全体計画・学校予算一覧・議事概要(案)について賛成多数で承認。</p> <p>4、全体計画では第2回は国庁跡清掃のみであるが、全国学力学習状況調査や、英語教育実施状況調査の結果、またいじめ問題の取り組みについても報告をしてほしい。</p>	<p>2(1)瀬田中として経年で見ると県と比べやや高い値で推移している。対話的な学びや教員研修、個々の生徒についての担任との情報共有の成果ではないか。どの子にも居場所のある学校であってほしい。基礎学力をつけるためには小中連携が必須。 龍大生ボランティアは、教員志望の学生が行い、生徒に寄り添う立場として授業に入りサポートしている。一人ひとりを大切に授業を展開していきたい。</p> <p>2(2)中庭に花を植えることや、ごみ拾いなど、何のためにするのかという目的意識を持って主体的に行うことが大切である。生徒会が主導して全校的に行っていることは良いことであり、このような場で授業に参加しづらい子がリーダーになる機会があれば良い。</p> <p>2(4)ここにいる多様な考えを持つ人達が集うことで、家庭環境や不登校についての知識を身に付けていくことが大切である。</p>